

1. 平成22年度 本園の目標 : 保護者に信頼される園、子供と信頼関係を築ける職員

2. 自己評価に対する学校関係者評価

I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策について

外から見るととにかく一生懸命保育をしてくれていることは感じる。学校へ引き継いだ後、今まで隠れていた問題がはっきりする場合もあるが、保護者の教育もしておいてくれれば、問題が解決しやすい場合もある。

II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策について

今の子どもたちは何事も経験不足になりがちなので、それを補う内容が求められるのではないかと。

III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策について

教師は1年目から、保育はもちろん、保護者対応、事務処理、雑務など、幅広いことを任せられ、責任も重い。

要領よく段取りよく進める知恵や工夫と、子どもに対する思い両方を備えていけるようにするには、かなり経験と年数が必要だろう。それを育てるサポート体制も大切だろう。

IV 「保護者への対応」についての検証結果及び改善策について

学校ではなかなか親との関係を作り時間や体制が作りにくい。幼児期に課題を明確にしたり、親子関係を良好にしておけるとよいが、園は園で課題がいろいろあるだろう。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての検証結果及び改善策について

並んでお帰りや園外散歩等で街中でよく園の子どもたちの姿を見かける。とてもよい風景だし、園のPRにもなる。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

大変だと思うが、教育という仕事には研修がつきもの。だから、この仕事は子どもが本当に好きでないとできないだろう。頑張りたい。

3. 今後に向けての園の考え（学校関係者評価を受けて）

今後、時代的に幼稚園に対する需要が減ることはあるけれど、ちょっとした心遣いや工夫、熱意が伝わり、信頼され、ファンになってくれる保護者もまだまだいるはずである。

園児が減るといいう危機を一人ひとりが知恵を絞り、職員が一致団結するよいチャンスとしたい。

また、園としてホームページや児童館の棚を活用して、園の情報をもっと流していく。